

「日本感性福祉学会」設立趣意書

幸福に生きることは人間にとって普遍的な願いです。今日まで、物質文明の隆盛は人類の幸福に寄与してきました。しかし、物質的豊かさをもたらした西欧の近代科学技術至上主義は、人の心のあり方や豊かさを深く洞察することに基軸を置いたものではありませんでした。その結果、現代社会のあらゆる場において、心と体の不均衡に由来する歪みや病的状態を引き起しています。

この現状を鑑み、課題解決のためには感性福祉の概念が重要であると考えました。感性福祉とは、人それぞれの感性に根ざした幸福を追求するために、わが国において培われてきた、人、物、自然の調和を新たにとらえなおし、人が生き活きと生きることができる環境の創出をめざす概念です。

感性福祉の実現のためには、感性と環境の相互作用に関する科学的研究、豊かな人間性を育む教育活動、個々人の感性や主体性を尊重した実践活動など、従来の領域にとらわれない幅広い活動が必要とされます。さまざまな領域で活動している人々の連携により、感性福祉の着実な実現を図るために、ここに「日本感性福祉学会」を設立いたします。